

# 令和5年度学校自己評価システムシート ( 県立熊谷工業高等学校 )

目指す学校像	育んだ心、深めた知識、学んだ技術を総合し、社会貢献できるスペシャリストの育成
--------	--

重点目標	1 確かな学力と専門的な知識・技術を身に付けたスペシャリストを育成する。 2 進路意識の向上と一人一人の希望を実現する進路指導を推進する。 3 心豊かでたくましく、規範意識をもたせ、規律ある態度を育成する。 4 地域との連携を深め、教育活動の情報を発信し、開かれた学校づくりと生徒募集を推進する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標					年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )		実 施 日 令 和 年 月 日		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	<b>【現状】</b> ・学校満足度調査結果から「生徒が授業は分かり易いと感じている93.3%」をはじめ、授業に関する4項目中3項目が90%以上の満足度を示している。 ・学習の積み残しがある生徒も点在しており、一人一人の生徒に合わせた学びの実践が必要である。 ・生徒は専門分野の知識・技術を学ぶ意欲が高く、各種資格取得や検定受験に対し意欲的にチャレンジしている。 <b>【課題】</b> ・生徒の目線に立ったわかりやすい授業を展開し、一人一人の生徒の学力向上に向けて取り組む必要がある。 ・コロナ禍で縮小していた教員相互の授業見学を実施し、更なるわかりやすい授業展開に努める必要がある。 ・授業後の補習や資格取得、検定受験に向けた補習等を行い、生徒の学力の向上、学ぶ意欲の向上に努める必要がある。	・学習内容の定着及び更なる学力の向上 ・専門的な知識の定着及び確かな技術の習得	①生徒1人1台タブレットをはじめとするICTを活用した授業を実践し、個に応じた学習や協働的な学びを充実させる。(通年) ②観点別評価の改善に継続的に取り組む(通年)とともに、教員相互の授業見学を行うことで、授業力の向上に取り組む。(彩の国教育週間) ③授業後の補習等を積極的にを行い、年間を通した成績優良者数の増加、成績不振科目数の減少を目指す。(通年) ①県教育委員会事業(外部人材派遣)の実施や熊谷市、近隣小中学校との連携(出前授業等)を積極的に行い、生徒の知識、技術等の向上に取り組む。(通年) ②各種資格取得に向けて、計画的な指導を実施する。(通年) ③学科の特性に応じた現場見学、企業見学等を積極的にを行い、専門的な知識を習得させる。(通年)	①各教科・科目におけるICTの活用が、積極的に行えたか。(定期的に調査) ②学校満足度調査の授業に関する4項目において、肯定的な回答が90%以上を維持しているか。教員相互の授業見学を実施し、授業改善の一助となるように取り組んだか。 ③成績優良者数の増加、成績不振科目数の減少となったか。 ①教育委員会事業の活用、熊谷市や近隣小中学校と連携し、生徒の知識・技術の習得に取り組めたか。 ②前年度と比較した各種資格取得者数が増加したか。 ③各工業科において現場見学、企業見学等を行い、生徒の専門的な知識を深めさせる取り組みを行ったか。					
2	<b>【現状】</b> ・学校満足度調査結果から、96.2%の生徒が、「本校は自分の進路を実現してくれる」と回答している。 ・就職希望者の進路決定率9年連続100%を達成している。 ・四大学進学コース希望者が近年少ない状況である。 <b>【課題】</b> ・更なる進路指導内容の工夫や改善を行い、一人一人の進路希望に沿った進路指導を行う必要がある。 ・就職希望者の進路決定率100%(10年連続)の維持、進学希望者に高いレベルの目標設定を持たせることが課題である。 ・四大学進学コースの在り方を検討する必要がある。	・個に応じた進路指導の推進及び進路希望の実現	①引き続き、進路指導内容の工夫、改善を行う。就職指導では、更なる第1希望の就職内定率に向けて手厚い指導を行う。(通年) ②就職希望者には、企業のニーズを把握した進路指導を行い、大学等進学希望者には入試形態に合わせた進路指導を実施する。(通年) ③教育課程委員会、企画委員会等を中心に、四大学進学コースの在り方について検討する。(通年)	①引き続き90.0%以上の生徒が、進路指導に満足したか。 ②就職希望者における進路決定率が100%となったか。進学希望者の指導の充実を図れたか。 ③四大進学コースの在り方について、関係する委員会等が動き、調査、検討を重ねたか。					
3	<b>【現状】</b> ・生徒は、規範意識をもって学校生活を送っており、安心安全な学校生活を送っている。 ・登下校の自転車事故が、昨年度は13件起きている(令和3年度は10件で増加傾向)。 <b>【課題】</b> ・継続して規律ある態度の養成が必要である。 ・登下校における自転車事故防止が急務である。また努力義務化になったヘルメット着用が課題である。 ・昨年度の事故は無いが、自動二輪等においても事故防止に向けた取組が必要である。	・時間や規律を守る態度の育成及び周囲を気遣う心の養成	①授業・学校行事・部活動等とおして、母校に誇りを持たせ、協調性を育み、規律ある態度を育成する。(通年) ②全教職員で継続的な挨拶指導・遅刻者への指導に取り組む。(通年) ③生徒指導部を中心とした自転車安全運転講習会や外部人材を活用した事故防止講習会を実施する。また、自動二輪等運転免許取得者への安全指導と講習会参加を徹底する。(通年)	①学校満足度調査結果から規範意識の状況等について前年度と比較し、増加したか。 ②遅刻者数が前年度と比較して減少したか。 ③早期に自転車安全運転講習会及び継続的な自転車点検が実施できたか。前年度と比較した自転車、自動二輪等の事故件数が減少したか。					
4	<b>【現状】</b> ・学校説明会、学校見学会、体験入部、出前授業、小学生への見学会、日々の学校ホームページ更新等を行い、学校説明に積極的に取り組んでいる。 ・熊谷市と連携し、市の事業の一端(ひろせ野鳥の森駅に接する駐輪場の整備等)を担い、生徒が学んだ専門的な知識、技術を地域に還元している。 <b>【課題】</b> ・さらに生徒募集に力を注ぎ、本校の入学を希望する生徒の増加を目指す必要がある。 ・積極的な情報発信と、より一層の地域や小中学校等と連携し、本校の魅力を伝えていく必要がある。	・更なる地域連携及び様々な機会を利用した教育活動の情報発信及び地域連携と広報活動の推進	①本校の魅力が発信できるような生徒募集となるように実施内容について検討を行う。(年度当初) ②学校ホームページの迅速な更新や更なる安心安全メールの効果的な活用を行う。(通年) ③小学生等を対象とした学校紹介、体験入学等を実施し、学校への理解を深化させる。(通年)	①生徒募集に関する実施内容の見直しを行ったか。また、各科の志願倍率が1.0倍以上になったか。 ②学校ホームページや安心安全メール等を有効的に活用したか。 ③小中学校等を対象として、学校の教育活動の紹介等ができたか。					